

● まち歩き 昭島水ものがたり



▲宮澤を流れる用水路を散策

しかし、水田の減少により用水の利用も少なくなっている。人間が手入れをしない用水は、すぐ荒れ果てる。ホタルやコイや水鳥の集まる用水、池を維持するためにどうすれば良いか考えさせる「まち歩き」であった。

くまち歩き吟行秀句

梅雨間 永遠にすかすと 井戸巡り(呆禿)
沢蟹を 探す子の背に そそぐ陽や(みのる)

(取材・撮影 / 自然と親しむ部会)

市民会議“自然と親しむ部会+の「まち歩き」は、昭島市の誇る「水」を巡るまち歩きを実施した。7月20日(土)市民交流センターを出発した。

玉川町と朝日町の地下水揚水所3ヵ所、中神熊野神社前の用水堀、宮澤諏訪神社境内の湧水池、多摩川沿いの昭和用水、水辺の散歩道から拝島の龍津寺(りゅうしんじ)下の「下の川」、田中町に残る水田風景を楽しみ、上川原の日枝神社下を水源とする用水(途中から暗渠)を歩いて、中神に戻った。

昭島市は、東京で唯一、深層地下水だけを水源とする水道と言われるだけに、多くの湧水が残っている。



▲用水路沿いのベンチでホット、一息

● 夏まつり神輿巡行



▲晴天と猛暑の最中、盛大に集合！

中神熊野神社・日枝神社の例大祭が8月17日(土)・18日(日)に行われました。ここでは、初日17日に第六ブロック内の神輿巡行が盛大に行われたのでご紹介します。連日猛暑の中、各自治会や地元有志の皆様が担ぐ3基の神輿が午後2時30分頃に六親自治会の神酒所前に集結。その後、そろって第六ブロックの街中を掛け声とともに練り歩きました。沿道の人たちも、神輿を担ぐ姿に元気なパワーをもらったことでしょう。3基の神輿は、六親自治会・朝日町住宅自治会・中神駅前親交自治会の各神輿です。

神輿を担ぐ人、神酒所や演芸会場等の準備や運営を行う人、皆様の共同作業でこの夏祭りが成り立っています。地域に密着した「明るく元気な街づくり」となる伝統行事です。来年もまた盛大な夏祭りが開催できるように期待しましょう。(地域活動部会 / 鈴木正俊)



▲朝日町住宅自治会



▲六親自治会



▲中神駅前親交自治会